

認知症に対する「プラズマローゲン(pls) 含有食品」の臨床試験

試験に参加、ご協力頂ける方を募集しています。

ご協力頂ける場合は、プラズマローゲン研究会(Tel:092-273-2411)にお問い合わせください。

【募集期間】 2014年11月～2015年9月

【募集人数】 400名

*募集人数に達した時点で、募集は終了致しますので予めご了承ください。

【対象者】

医師が適当と判断した認知症（軽度認知症又は軽度認知障害）の方で、月に1回7ヶ月間 実施医療機関に通院が可能で、家族（施設等）の協力が得られる方。
60歳以上85歳以下の方（日本国籍の方）

【食品臨床試験の目的】

- ・「pls含有の試験食品」を6ヵ月摂取してもらい、認知レベル及び臨床検査データの変化をみます。
 - ・試験用の食品は、食べやすいコーヒーマグ味のゼリーで1日2回（朝・夕）計20gです。
1：1の割合でプラセボ群（有効成分plsを含まない試験食品）と実食品群（有効成分plsを含む試験食品）に分かれ、試験食品を摂取して頂きます。
- *尚、医療機関も患者さん側も実食品、プラセボ食品のどちらになるか、指定することはできませんのでご了承ください。

【協力費】

1来院あたり、10,000円の交通費を含む協力費があります。
また、試験のための検査費用の負担はありません。



【食品臨床試験の流れ】

来院 ① 事前説明、アンケート、採血、診察（食品摂取開始）

試験参加には条件がありますので、ご参加頂けない場合があります。

来院 ② 1ヵ月後 診察

来院 ③ 2ヵ月後 採血、診察

来院 ④ 3ヵ月後 アンケート、診察

来院 ⑤ 4ヵ月後 採血、診察

来院 ⑥ 5ヵ月後 診察

来院 ⑦ 6ヵ月後 採血、アンケート、診察（食品摂取終了）

来院 ⑧ 摂取終了後1ヵ月 採血、診察（試験終了）

「プラズマローゲン」と認知症

「プラズマローゲン」とはヒトなどの生体内に広く分布する「リン脂質」の一種です。

アメリカの研究でアルツハイマー病患者でプラズマローゲンが重要な役割を果たしており、アルツハイマー病患者において脳、血液でプラズマローゲンが減少することが明らかになっています。

また、日本の研究でプラズマローゲンを摂取することで、認知学習機能が改善し、細胞新生することが明らかになっており、アルツハイマー病の改善が期待されております。

一般社団法人 プラズマローゲン研究会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6-18-6F

TEL：092-273-2411 / FAX：092-283-6854